



西尾市岩瀬文庫（亀沢町）

明治41年、岩瀬弥助氏により設立。茶色の建物は岩瀬文庫書庫、大正8年頃の建物で西尾における唯一の現存レンガ造建築。平成15年に古書ミュージアムとしてリニューアル。

8万冊を超える蔵書は重要文化財を含む貴重なもの。

西尾更生保護

第80号

発行者
西尾保護区保護司会
事務局

西尾市寄住町下田22
西尾市役所福祉課内
☎(0563) 56-2111(代)

(題字 鳥居伸子)



「誰も取り残さないまち
西尾の実現に向けて」

西尾市長

中 村 健

あけましておめでとうございます。

保護司の皆様におかれましては、日頃より地域における安全で安心して暮らせる明るい社会の実現に向けた更生保護活動にご尽力をいただいておりますことに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、西尾市では昨年度末、「西尾市地域福祉計画」と一体的に「西尾市再犯防止推進計画」を策定しました。そこには、広く市民が再犯防止について理解を深めるとともに、持続可能な保護司制度維持のために幅広い世代から多様な人材確保に努めていくことなどを示しています。本計画策定にあたっては、保護司会の皆様から多大な協力を賜りましたことについて厚く感謝申し上げます。犯罪のない明るい社会の実現に向けてこれからも保護司会の皆様との連携の強化が地域社会のニーズであると認識しています。

ところで、昨年五月、滋賀県大津市で保護司の痛ましい事件が起きてしまいました。保護司制度の根幹を揺るがす深刻な事態であり、事件後には県内の全保護司に対し活動における不安の聞き取り調査等を実施したと聞いております。また、事案によっては、自宅に対象者を招いて面接を行っていることに不安を感じておられる保護司の方もおられるとのことで、自宅以外で身近に面接を行うことのできる場所の確保のための協力依頼もいただいております。

再犯の最大の要因は社会的孤立であるといわれています。多様な生きづらさや困難を抱えた当事者を孤立化させず、社会全体で包摂することが更生のうえで大切であり、そこに大きな役割を担っている保護司の皆様は、安心・安全な社会を構築するうえで欠かすことのできない存在です。西尾市地域福祉計画の基本理念である「地域のつながりが生み出す誰も取り残さないまち」の実現のため、今後も更生保護活動が安全にかつ活発に継続されることをご祈念申し上げます。

新年のご挨拶

一年を振り返って



西尾保護区保護司会
会長 有馬 健治

明けましておめでとうございます。コロナ感染症が五類に移行後、年間計画に盛り込まれた様々な行事が予定通り進められました。四つの部会である総務部会・研修部会・社明部会・犯罪予防部会で部長を中心積極的に運営され大変嬉しく思います。本年も引き続き推進して頂きたいと考えています。

昨年同様に懸案である、保護司の安定的な人材確保、保護司活動の広報啓発及び再犯防止の取り組みを進めていく思いであります。そして私たち保護司会は協力して更生保護活動の推進ができるよう真剣に取り組んでまいりたいと考えています。

令和七年も名古屋保護観察所によるご指導・ご支援を賜りながら、西尾市を始め関係機関団体に対する協力依頼を積極的に進め、保護司会の懸案事項の協議解決に努力してまいりたいと思っています。会員皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

更生保護女性会をより一層
身近に引き合っていきたい

西尾市更生保護
女性会
会長 沖田 和子

皆様にはお健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。六年ぶりに施設見学会を実施出来ました。役員理事26名にて自啓会施設訪問、津波避難タワー、愛知県立にしお特別支援学校を見学しました。また保護司の先生方との合同研修、社会を明るくする運動などに参加させて頂き交流を深めました。

私の昨年の収穫は県の研修会に

出席し、他の会長、副会長他、役員の皆さんとの意見交換、熱いデスカッションが出来た事です。更生保護女性会の一丁目一番地は、こまっっている子供達を助ける。これが原点です。無償の奉仕、更生保護の心をしっかりと理解し、更生保護が大好きである事です。長年の課題である会員の減少、この問題も自分の事と考え取り組んでいる事を痛感しました。私は以前にも増し更生保護女性会を身近に考え取り組もうと決意しました。

「批判より提案」
役員、理事、会員の方々と向き合いご協力を得て前進を願います。

年頭所感



西尾保護区
協力雇用主会
会長 深谷 宣一

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

今年度も昨年に続き就労支援事業者機構の井坂事務局長をお招きして研修会を行う事が出来ました。対象者の受け入れも中々出来なく実績が伴わない現状です。いとお話があっても対応できる様に今後も研修を行うと共に保護司の皆様との連絡を密に行きたいと考えています。

又、今後の目標として名古屋市の様に立ち直り支援推進企業として優遇制度の今以上の充実を行政にお願いして行きたいと考えています。さて、令和七年、「乙巳（えとみ）二黒土星」の年はどんな年になるでしょう。

日本の石破体制、令和七年には米国のトランプ体制がスタートしました。ウクライナ、イスラエル問題等が紆余曲折しても前進を止めず従来の誤った因習的生活に終わりを告げ、新たに出発する時とあります。それには努力や誠実さ、日々の精進が重要です。

いずれにしても国内外共に平和で明るい令和七年を期待し年頭所感と致します。

総務部会

保護司活動の
理解を深めるパネル展示

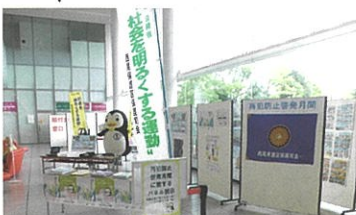
令和六年七月十日から十七日まで、西尾市役所ロビーにて開催いたしました。

七月は、「再犯防止啓発月間」
「社会を明るくする運動の強調月間」でもあります。市民の皆様に再犯防止について関心と理解を深めていただきたく、保護司活動の広報として企画いたしました。

名古屋保護観察所の協力を得て、法務省保護局のマスコットキャラクター「更生ペンギンのホゴちゃん」も展示。罪を犯した人たちが更生するまでの道のりなどを、パネルや動画で紹介いたしました。

私たちの活動が罪を犯してしまった人たちの支えとなり、再犯防止につながるよう、これからも保護司の活動を広く紹介し、地域の皆様との連携を深めていければと考えています。犯罪のない明るい社会を皆様とともに作りましょう。

(総務部会 井上 和江)



犯罪予防部会

西尾祇園祭り街頭指導

本年度は、更生保護女性会と保護司会合同で駅前組と街中組二班の三組に分かれて啓発活動を行いました。

当日は大変暑い中、大勢の人々がイベントを楽しむ姿を見て「西尾祇園祭り」

の絶大な効果を肌で感ずることができました。この活動は、本来暴走族対策の一環として始まった事業ですが、今では沈静化しており

その役割も終えようとしています。犯罪予防部会では数多く出された反省点や課題を検証し、次年度以降の事業のあり方も含め見直しを検討することとなりました。しかし、犯罪予防の面ではその抑止力になっており意義あるものと思っています。

(犯罪予防部会 鈴木 亨)



社明部会

社会を明るくする運動「クリアファイル贈呈」

社会を明るくする運動は、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

私も西尾保護区保護司会はこの運動を毎年市が主催する「西尾市社会を明るくする運動・西尾市青少年健全育成市民大会」と共に社明活動をしてまいりましたが、令和六年度より別々に独自の活動を行うことにいたしました。この更生保護活動の一環として西尾市内小学校の六年生全児童(総数一五〇〇人余)に啓発用の「クリアファイル」を贈呈するものです。

このクリアファイルは、「育むチカラと支えるチカラ」のことがばと共に更生保護マスコットキャラクターのホゴちゃんとサラちゃんをあしらったものです。このクリアファイルを通してこれから大きく成長していく子供らに心も身体も健康に成長するよう、又、非行のない安全で安心な明るい社会につながることを願うものであります。



(社明部会 鈴木 茂)

研修部会

第二期地域別定例研修
各種報告書の作成について
個人情報保護とH@の活用

デジタル社会の進展に伴い、保護観察等に関する各種報告書の作成などデジタル機器を活用する機会が増えています。保護司が保有する個人情報データの適正な取り扱いや保護司専用ホームページH@（はあと）の活用についての理解を深め、その利用の促進を図ることを目的とし、竹内健悟保護観察官を講師に迎え、研修を行いました。



令和三年八月末から一部をインターネット上で行うことが出来る「保護司専用ホームページH@」が開始となりました。その利便性の高さに加えて、個人情報の取扱いのさらなる安全のため、報告書作成は令和七年度よりH@による方法または紙媒体の様式の手書きに限定されます。まだH@を活用していない保護司については研修を機に関心をもって活用してもらいたいと話されました。

(研修部会 糸 亜希子)

県外研修

九月二十九日・三十日に一泊で北陸の福井県・石川県へ県外研修旅行に行きました。

福井県では昨年の大河ドラマ「光る君へ」の主人公紫式部が一年あまり滞在したといわれる越前市の大河ドラマ館や、断崖絶壁が海岸に迫る東尋坊を見学しました。金沢市にある

更生保護施設・徳風苑親和寮は、令和四年に全面改築工事が完了し明るく清潔な環境が整っていました。収容者はお客様として扱い、少しでも上向きになれるよう心がけているそうです。しかし心身障害者や高齢者・アル中患者など更生困難者も抱えており、出所後の相談相手になつているとも話されていました。

金沢市近江町市場や兼六園は、北陸新幹線の開通後観光客が増え、外国人の姿も多数見かけました。参加者二十四名、ゆとりある行程でじっくりと研修するとともに懇親を深める場となりました。

(研修部会 清水 勝英)



愛知県更生保護大会
に参加してとき十一月十五日(金)
ところ 名古屋公会堂

本年は、更生保護制度施行75周年の記念大会であり、愛知県の更生保護関係者約千五百名が一堂に会し式典が行われました。西尾市からは、法務大臣表彰の岡田光祥保護司を始め保護司14名、更生保護女性会6名が表彰、感謝状の栄を受けられました。



大会宣言では、「昭和24年に発足した更生保護制度が更生保護関係者の努力と地域社会の理解支援により、罪を犯した人や非行した少年の立ち直りを支え、安全安心な地域社会作りに貢献している。犯罪や非行をした人を社会から排除してしまおうのではなく、立ち直りが出来る社会が大切である」との思いをもって更生保護活動に取り組んでいく」と宣言されました。自身の保護司活動を見詰め直し、更生保護の意識を高める一日となりました。

(保護司 神谷 昇)

令和六年度受表彰者紹介

敬称略

法務大臣表彰

保護司
神谷 昇保護司
岡田 光祥

全国保護司連盟理事長表彰

保護司
岡田 廣行保護司
清水 勝英中部地方更生保護委員会
委員長表彰保護司
成瀬隆比古保護司
山崎 正信

中部地方保護司連盟会長表彰

保護司
稲垣たまえ保護司
鈴木 茂

名古屋保護観察所長表彰

保護司
長谷 敦司

愛知県保護司会連合会長表彰

保護司
宇野 和子保護司
木下 一保護司
鈴木 睦保護司
岡安 敏雄保護司
小塚 義人中部地方更生保護女性連盟
会長表彰更生保護女性会
小林 和江

名古屋保護観察所長感謝状

更生保護女性会
浅井さよ子更生保護女性会
市石 好子愛知県更生保護女性会
会長表彰更生保護女性会
鍋田 和子更生保護女性会
田中美代子更生保護女性会
古沢 宣子

退任保護司紹介

上町 清水 勝英
(在職16年)

多年にわたり、ご苦労様でした。ご一緒に保護司の仕事が出来て嬉しかったです。退会されてもご助言をいただければ幸いです。



【編集後記】

新任保護司のなり手不足が毎年話題に上がります。定年年齢が延長していることを踏まえ、令和七年度から、保護司の新任委嘱時の上限年齢が撤廃されます。これで保護司のなり手が増えることを願ってやみません。保護司の活動に少しでもやりがいや意義を感じ、仲間が増えることを願いたいものです。

(総務部会 杉浦 雅人)